

新型インフルエンザ(豚インフルエンザH1N1)

新型インフルエンザの知識

(内容 平成21年4月30日現在)

第1号

編集／発行

京都府中丹西保健所

〒620-0055

京都府福知山市篠尾新町1丁目91番地
TEL. 0773-22-6381 FAX. 0773-22-0429

メキシコ、米国発 新型インフルエンザ

4月23日米国疾病管理センター(CDC)より、米国で豚インフルエンザ(H1N1)の患者が発生したと報告がありました。

4月28日には、メキシコや米国等での豚インフルエンザ(H1N1)の感染が多数発生していたことから、世界保健機関(WHO)は、継続的に人から人への感染があると見て、警報レベルを**フェーズ4**に引きあげました。

こうした状況から、日本政府は、今回のインフルエンザを「新型インフルエンザ」と位置づけ、まん延防止と健康被害を最小限にとどめるため、万全の対策を講じることとしました。

4月30日には、感染が世界的に広がり、収束の兆候もないことから、世界保健機関(WHO)は警報レベルを**フェーズ5**に引きあげました。

現在、日本での感染は確認されていませんが、今後海外で感染した帰国(入国)者による二次感染の危険性がありますので、正しい知識を身につけ、感染予防に心がけることが大切です。

発熱相談センター開設

中丹西保健所では、4月28日から「発熱相談センター」を設置しています。

メキシコ、米国等、感染地域から帰国された方で、**発熱、鼻汁、咳、咽頭痛等の症状**のある方は、直接、医療機関を受診せず、必ず住所地の保健所に電話してください。

福知山市にお住まいの方

中丹西保健所 0773-22-6381

WHOフェーズ区分

フェーズ1	ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、ヒトへ感染する可能性を持つ型のウイルスを動物に検出
フェーズ2	ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、動物からヒトへ感染するリスクが高いウイルスが検出
フェーズ3	ヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、ヒトからヒトへの感染は基本的に無い
フェーズ4	ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、感染集団は小さく限られている
フェーズ5	ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認され、パンデミック発生のリスクが大きな、より大きな集団発生がみられる
フェーズ6	パンデミックが発生し、一般社会で急速に感染が拡大している

◇感染予防の心がけ◇

- 感染地域への不要不急の渡航はやめましょう。
- 人混みはできるだけ避けましょう。
- 人混みにでるときはマスクをしましょう。
- 帰宅時には手洗いとうがいをしましょう。
- 睡眠を十分に取り、栄養のある食事を心がけましょう。
- 咳エチケットを心がけましょう。

保健所の「**発熱相談センター**」の役割は、自分が感染したのではと不安を抱える人から電話相談を受け、感染が疑われる場合は、受診先での院内感染を防ぐため、受診調整をし、「**発熱外来**」を紹介します。

「**発熱相談センター**」は、初期の感染拡大を予防する重要な役割をもち、皆さんの冷静な行動と協力が重要になります。



電話相談

①状態の確認
渡航歴や接触の可能性の確認。症状とその出現時期等

②「発熱外来」との受診調整

③「発熱外来」の受診場所と時間の案内
＜受診時の注意事項＞
・マスクの着用
・医療保険証の持参
・ティッシュやビニール袋の持参など

発熱相談センター

手洗いを励行しましょう

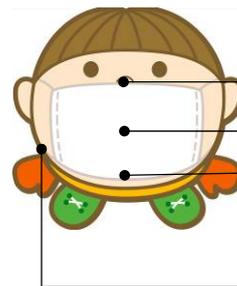
(手洗いの注意事項)

- ①手を洗うときは、時計や指輪をはずし、爪は短く切っておきましょう。
- ②使い捨てのペーパータオルを使用しましょう。
(共同使用する布タオルはやめましょう。)
- ③水道栓の開閉は、手首、肘などで簡単にできるものが望ましいです。(溜まり水はやめましょう。)
- ④水道栓は、洗った手で止めるのではなく、手を拭いたペーパータオルで止めましょう。
- ⑤手を完全に乾燥させましょう。



「咳エチケット」を守りましょう

- 咳、くしゃみなどの症状があるときは、マスクを着用し、感染防止につとめましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用を促しましょう。
- 咳、くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ他の人から顔をそむけ2m以上離れましょう。
- 鼻水、痰などを含んだ、使用後のティッシュは、蓋つきのゴミ箱に捨てましょう。



- ①口と鼻の両方とも覆う
- ②鼻当てワイヤを曲げ、鼻にフィットさせる
- ③マスクをあごの下まで伸ばす
- ④口ヒモを引っ張り、できるだけすき間ができないように調整する

国内未発生の中 個人や家庭で準備できること

= 備蓄物品の例(少なくとも2週間分) =

●対インフルエンザ対策用物品

- マスク (不織布製マスク)
- 体温計
- 消毒用アルコール (アルコールが60~80%程度含まれている消毒液)
- ゴム手袋 (破れにくいもの)
- 氷枕・水枕 (頭等の冷却用)
- 漂白剤 (次亜塩素酸)

●食料品(長期保存可能なもの)の例

- ◇主食類
 - 米
 - 乾パン
 - 乾麺類 (そば、ソーマン、うどん等)
 - コーンフレーク・シリアル類
 - 切り餅
- ◇その他
 - 各種調味料
 - インスタントラーメン
 - 菓子類
 - ミネラルウォーター
 - レトルト・フリーズドライ食品
 - 缶詰
 - 冷凍食品 (家庭での保存温度、停電に注意)
 - ペットボトルや缶入りの飲料

●日用品・医療品

- 常備薬 (胃薬、痛み止め、その他持病の処方薬)
- ガーゼ・コットン (滅菌のものと同でないもの)
- 解熱鎮痛剤 (アセトアミノフェンなど)
- 絆創膏 (大・小)

●通常の災害時用物品(あると便利なもの)

- 懐中電灯
- 携帯電話充電キット
- トイレトーパー
- キッチン用ラップ
- 洗剤 (衣類・食器等) 石鹼
- 生理用品 (女性用)
- 紙おむつ
- ごみ用ビニール袋
- 乾電池
- カセットコンロ・ガスボンベ
- ティッシュペーパー
- アルミホイル
- シャンプー・リンス
- 保湿ティッシュ (アルコールのあるものないもの)
- ビニール袋 (汚染されたごみの密封に利用)